

KENWOOD

CDチェンジャー/コントローラー/FMモジュレーターシステム

KDC-C521FM

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

CD CHANGER WITH FM MODULATOR SYSTEM KDC-C521FM

C O N T E N T S

この取扱説明書の読み方 **3**

安全上のご注意 **4**

使用上のご注意 **6**

▶ ディスクセットのしかた **8**

▶ 操作のしかた

パワーオン、パワーオフ、ソース選択、ポーズ/プレイ、
ストップ **10**

早送り/早戻し、トラックサーチ、ディスクサーチ、
ダイレクトトラックサーチ、ダイレクトディスクサーチ **12**

トラック/ディスクリピート、トラックスキャン **14**

トラックランダム、マガジンランダム **16**

表示切り替え **18**

▶ メニュー

メニュー設定 **20**

取り付け上のご注意 **22**

取り付け・接続のしかた **24**

故障かな? と思ったら **32**

保証とアフターサービス **34**

仕様一覧 **35**

この取扱説明書の読み方

- 機能の名称が書いてあります。

トラックスキャン

聴きたい曲を探す



SCAN[SCAN]ボタンを押す。

トラックスキャンプレイがオンになり、聴いているディスクの各曲の最初の部分を次々に10秒間ずつ演奏します。

トラックスキャンプレイ中はSCANインジケーターが点灯します。

- 機能の簡単な説明が書いてあります。

- SCAN[SCAN]ボタンを押す。

リモコンのボタンを示します。

ディスプレイユニットのボタンを示します。



- ディスプレイの表示例を示します。



▶ 聴きたい曲の再生が始まったら
SCAN[SCAN]ボタンを押す。

トラックスキャンが解除され、通常のプレイになります。

MEMO ▶

聴いているディスクのトラックを全てスキャンすると、トラックスキャンプレイは解除されます。

- 操作に関する補足説明が書いてあります。



ボタンを押し、すぐに手を離します。



ボタンを押し続けてから手を離します。

ご使用の皆様へ

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため
「安全上のご注意」をご使用前に
よくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

⚠ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

🚫 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

📌 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

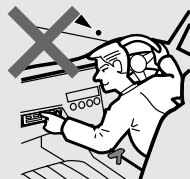
お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

警告



実施

運転者が音量調節などのカーオーディオの操作するときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行なってください。



実施

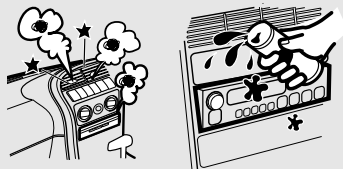
運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



実施

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケノウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 水がかかった
- 異物が入った
- 煙が出る
- 変な匂いがする



注意



禁止

修理は必ずご購入店にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。



禁止

ディスク挿入口に手や指を入れしないでください。けがをすることがあります。



禁止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



禁止

本製品内に水や異物を入れしないでください。発煙、発火、感電の原因となります。



実施

液晶を使用している製品が衝撃等により破損した場合、液晶液に触れないでください。生命に危険を及ぼす恐れがあります。液晶液が手足など身体や、衣服に付いた場合は、ただちに石鹸で洗い落としてください。



禁止

本製品の通風口や放熱器をふさがしないでください。通風口や放熱器をふさぐと内部が高温になり、火災の原因になることがあります。



実施

リモコンには指定以外の電池を使用しないでください。また、電池の入れ替えは極性に注意し指示通りに行ってください。乾電池の破裂、液漏れなどにより、火災や怪我の原因となる場合があります。



実施

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のためご購入上げの販売店にご依頼ください。

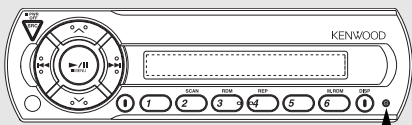
使用上のご注意

取り付け時の注意

直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

本機の見かけが不安定のまま使用すると故障の原因となります。本機は確実に固定し使用してください。

初めてお使いになるときや、バッテリーを交換したときは、ペンの先などでリセットボタンを押してから使用してください。



リセットボタン

本機の異常にお気づきのときは

万一、セットの異常にお気づきのときは、まずディスプレイユニットのリセットボタンをペンなどで押してください。それでも正常に戻らないときは、そのままの状態で購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へお問い合わせください。

本機のお手入れについて

セットが汚れたときは、シリコンクロスやわらかい布でからぶきしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものでふくと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

CDチェンジャー内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてCDの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときは上記のリセットボタンを押してください。

結露について

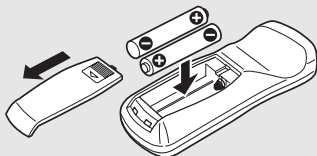
寒いときにヒーターをつけた直後など、CDチェンジャー内部に露(水滴)がつくことがあります。これを結露といい、この状態ではCDの読み取りができなくなることがあります。

このような場合は、CDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へお問い合わせください。

リモコンについて

付属の乾電池(単三型2本)を⊕⊖の向きを正しく合わせて入れてください。



操作できる距離が短くなったり、なかなか動作しない場合は、乾電池が消耗していることが考えられます。このような場合は、2個とも新しい乾電池と交換してください。新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用すると、液漏れなどによる故障の原因になります。

電池を充電、ショート、分解、加熱したり、火の中に入れてたりしないでください。液漏れを起こす危険があります。液漏れを起こし、目に入ったり、皮膚や衣類に付着したときは、すぐに水で洗い流し、すぐに医師に相談してください。また、電池は子供の手の届かないところに置き、万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

リモコンを直射日光の当たる場所(ダッシュボードの上など)温度が高くなるような場所に放置しないでください。

本システムを使用すると・・・

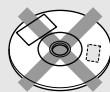
カーラジオ(カーステレオ)によってはエンジン始動時に、一時チューナーの音になることがあります。

本機を使用すると、チューナーの感度が少し落ちる場合があります。

使用できないCD

記録面や、ラベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。


CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレイヤーにかけるとCDが取り出せな



特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



記録面(ラベル面の反対側)が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

本機でプレイ可能なディスクは  マークの入ったCDだけです。

前記マークの入っていないディスクは、プレイが正しくできない場合があります。

ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。(ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。)

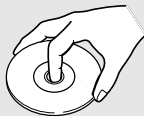
このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

インクジェットプリンターでラベル面に印刷可能なCD-R/CD-RWは使用しないでください。使用すると、誤動作をすることがあります。

CDの取扱について

CDの汚れや、ゴミ、きず、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。

取り扱いには、記録面に触れないようにします。ラベルが印刷されていない面が、記録面です。



CD-RやCD-RWは通常の音楽CDより反射膜が弱いため、傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取り扱いには十分注意をしてください。

詳細な注意事項がCD-RおよびCD-RWのパッケージなどにも書かれています。それらの注意事項も読んでから使用してください。

CDの保存

直射日光が当たる場所(シートやダッシュボードの上)など、温度が高い場所には置かないでください。特にCD-R、CD-RWは通常の音楽CDに比べ、高温、多湿の環境に弱く、ディスクによっては車内に長時間放置すると使用できなくなる場合があります。

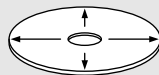
長期間演奏しないときは、CDチェンジャーからCDを取り出し、ケースに入れて保管してください。

きず、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

CDのお手入れ

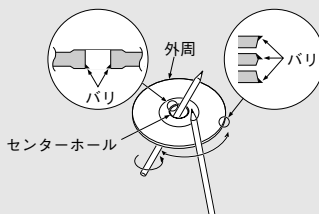
CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスややわらかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふきとってください。

従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



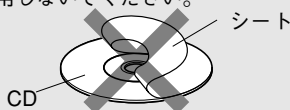
新しいCDを使うときは

新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、CDが挿入できなかつたり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。



CD用アクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ(スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど)は故障の原因となりますので使用しないでください。

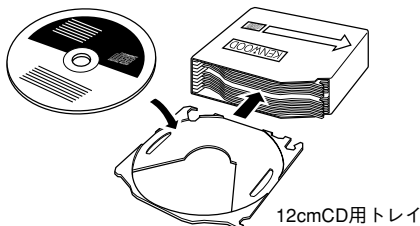
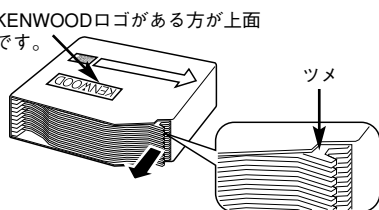


ディスクセットのしかた

ディスクマガジンにディスクをセットする

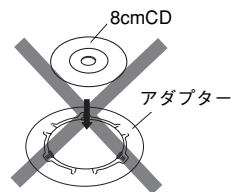
1. KENWOODロゴがある方を上にしてディスクマガジンを持ち、トレイのツメを持って引き出します。
2. ディスクのラベル面を上に向けてトレイに乗せ、トレイをディスクマガジンに挿入し、ロックするまで差し込みます。ディスクやトレイがきちんと入っているか確認してください。ディスクNo.は、下からディスクNo.1,2,3.....10です。

KENWOODロゴがある方が上面です。



MEMO ▶ ● トレイをディスクマガジンに段違いに入れたり、ディスクがトレイの溝から外れていると故障やディスクに傷を付ける原因になります。

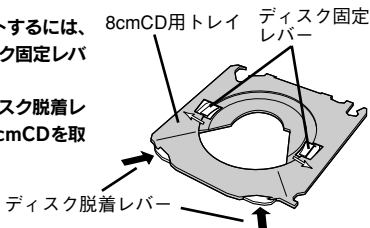
- ディスクがない状態でもトレイは全て入れてください。誤動作や故障の原因になります。
- ディスクの交換時はトレイをマガジンから完全に抜き出して交換してください。
- 付属のディスクマガジンまたは、別売の"KCA-M112C"では、8cmCD(シングルCD)は使用できません。また、8cmCD(シングルCD)用アダプターも使用しないでください。8cmCD(シングルCD)用アダプターを使用すると、ディスクが取り出せなくなります。8cmCD(シングルCD)を使用する場合は、下記をご覧ください。



8cmCD(シングルCD)用トレイについて

● 8cmCD(シングルCD)を使用するときは、別売の8cmCD(シングルCD)用マガジン"KCA-M108C"(10枚用)を使用してください。

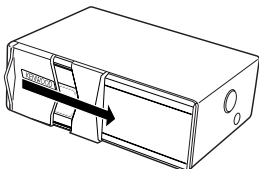
1. 8cmCD(シングルCD)用トレイにディスクをセットするには、ディスク脱着レバー(⇒の白い部分)を押し、ディスク固定レバーを広げながら、8cmCDを乗せます。
2. 8cmCDをトレイから取り出すときも同様に、ディスク脱着レバーを押し、ディスク固定レバーを広げながら、8cmCDを取り出します。



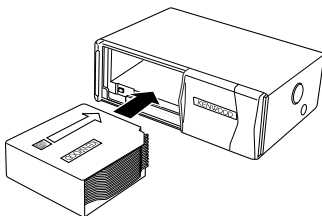
- 8cmCD(シングルCD)用トレイと12cmCD用トレイを差し替えて使用することができます。
- ディスク固定レバーにディスクが確実に固定されるようにしてください。ディスクが固定されていないと、ディスクが脱落して故障やディスクに傷を付ける原因になります。
- 8cmCD(シングルCD)用トレイをマガジンに挿入するとき、ディスク脱着レバーを押さないでください。8cmCDが脱落して故障やCDに傷を付ける原因になります。

ディスクマガジンをCDチェンジャーにセットする

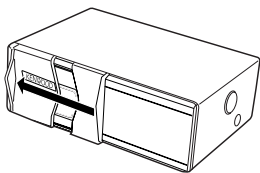
1. CDチェンジャーのドアを開けます。



- 2 ディスクマガジンをCDチェンジャーにロックするまで入れます。



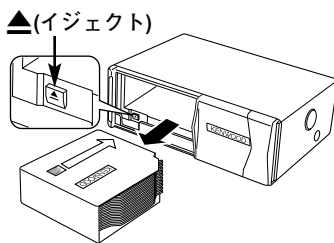
- 3 CDチェンジャーのドアを閉めます。



MEMO ▶ ホコリなどが入ると、レーザーピックアップが汚れますので、必ずドアを開けて使用してください。

ディスクマガジンから取り出す

1. CDチェンジャーのドアを開けます。
- 2 ▲(イジェクト)ボタンを押します。
- 3 ディスクマガジンを取り出します。
- 4 CDチェンジャーのドアを開めます。



MEMO ▶ ● ディスクマガジンのイジェクト

ディスクマガジンを取り出すときは、ドアを完全に開いてから行ってください。ドアが完全に開いていないとマガジンがドアに当たり故障の原因となります。

もし、イジェクト時にマガジンがドアに当たったときは、無理にドアを開けずにマガジンをロックするまで押し、ドアを完全に開けてから再度▲(イジェクト)ボタンを押してください。

● マガジンの保存

直射日光のあたる場所など、温度が高い場所には置かないでください。特に、夏の直射日光下のシート、ダッシュボードの上などは非常に高温となりますので、絶対に放置しないでください。汚れ、変形の原因となります。マガジンやトレイが汚れたり変形すると、故障やディスクに傷を付ける原因になります。

長期間演奏しないときは、本機からマガジンを取り出して、ケースなどに入れて保管してください。

操作のしかた

パワーオン

ディスクの演奏に切り替える



SRC[SRC]ボタンを押す。

本機の電源がオンになり、ディスクの演奏が始まります。

ディスクNo.表示 トラックタイム表示



トラックNo.表示

MEMO ▶

- お買い上げ時はFMモジュレーター周波数は88.3MHzに設定されています。カーFMラジオも同じ周波数に合わせてください。
- FMモジュレーター周波数は87.7MHz～89.9MHzの範囲で0.2MHzステップずつ切り替えられます。設定のしかたは「FMモジュレーター周波数設定」(20ページ)をご覧ください。
- ディスクの音声とFM音声の音量が大きく違う場合は「FMモジュレーターレベル設定」(20ページ)を参照し設定値を変えてください。

パワーオフ

カーFMラジオの音声に切り替える



SRC[SRC]ボタンをディスプレイの表示が消えるまで押す。



本機の電源がオフになり、カーFMラジオの音声に切り替わります。

MEMO ▶

- 本機の電源をオフにするとカーFMラジオの音量が急に大きくなる場合があります。電源をオフするときは、カーFMラジオの音量を一旦下げてください。
- 本機を接続すると、本機の接続前に比べラジオの受信感度が下がります。

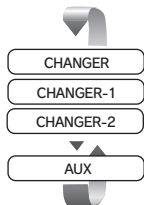
ソース選択

プレイするソースを切り替える



SRC[SRC]ボタンを押す。

押すたびにソースが次の順で切り替わります。



接続したディスクチェンジャーのディスクをプレイ

内蔵AUXに入力されている音を出力

MEMO ▶

- AUXは次の別売品を接続しているときでのみ選択できるソースです。なお、別売品を接続すると、リモコンでパワーオフとストップの操作はできません。
- KCA-S220A
 - KCA-S210A
 - CA-C1AX

ポーズ/プレイ

ディスクの一時停止と再生



▶/||▶/||▶ボタンを押す。

押すたびにポーズ/プレイを繰り返します。

ストップ

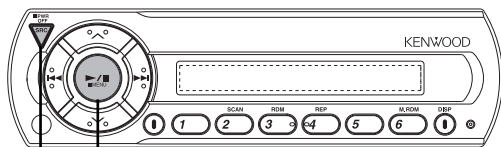
ディスクの再生を停止する



SRC[SRC]ボタンをディスプレイの表示が消えるまで押す。



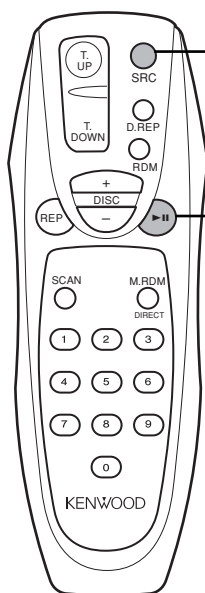
本機の電源がオフになり、カーFMラジオの音声に切り替わります。



SRCボタン



▶IIボタン



SRCボタン



▶IIボタン

操作のしかた

早送り/早戻し

聴きたい演奏箇所を選ぶ



◀または▶ボタンを押し続ける。
◀ボタンを押し続けると手前へ早戻しし、▶ボタンを押し続けると先へ早送りします。希望の所で指を離します。

トラックサーチ

聴きたい曲を選ぶ



◀◀[T.DOWN]または▶▶[T.UP]ボタンを押す。

◀◀[T.DOWN]ボタンを押すと手前の曲になり、▶▶[T.UP]ボタンを押すと先の曲になります。

聴きたい曲のトラックNo.が表示されるまで押します。

トラックNo.

ディスクサーチ

聴きたいディスクを選ぶ



へ[+]または∨[-]ボタンを押す。
へ[+]ボタンを押すと次のディスクになり、∨[-]ボタンを押すと前のディスクになります。
聴きたいディスクNo.が表示されるまで押します。

ディスクNo.

ダイレクトトラックサーチ

聴きたいトラックNo.を入力して選ぶ



1.聴きたいトラックNo.の[ナンバー]ボタンを押す。
押したトラックNo.が表示されます。

トラックNo.



2.トラックNo.が表示中に[T.DOWN]または[T.UP]ボタンを押す
入力したトラックNo.にサーチします。

ダイレクトディスクサーチ

聴きたいディスクNo.を入力して選ぶ



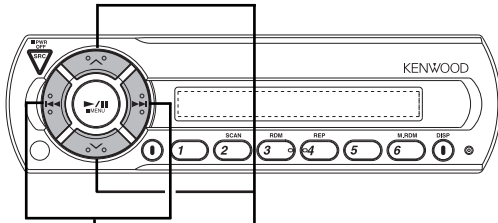
1.聴きたいディスクNo.の[ナンバー]ボタンを押す。
押したディスクNo.が表示されます。

ディスクNo.



2.No.が点滅中に[+]または[-]ボタンを押す。
入力したディスクNo.にサーチします。

MEMO ▶ 10番目のディスク番号は“0”と表示されます。



◀▶ボタン



へ/ゝボタン



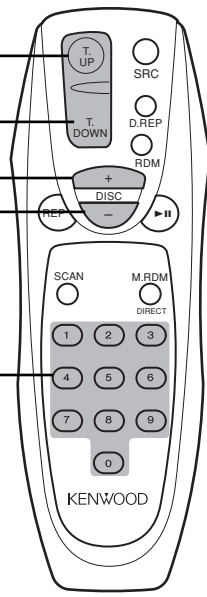
T.DOWN/
T.UPボタン



+/-ボタン



ナンバー
ボタン



操作のしかた

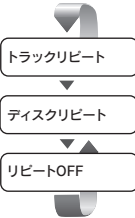
トラック/ディスクリピート

同じ曲、同じディスクを繰り返し聴く

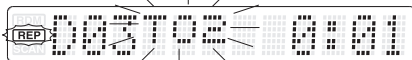


REP[REP]ボタンを押す。

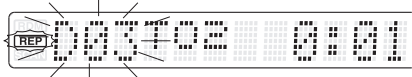
押すたびにリピートプレイが次の順で切り替わります。



トラックリピート中は、REPインジケータが点灯し、トラックNo.が点滅表示します。



ディスクリピート中は、REPインジケータが点灯し、ディスクNo.が点滅表示します。



トラックスキャン

聴きたい曲を探す



SCAN[SCAN]ボタンを押す。

トラックスキャンプレイがオンになり、聴いているディスクの各曲の最初の部分を次々に10秒間ずつ演奏します。

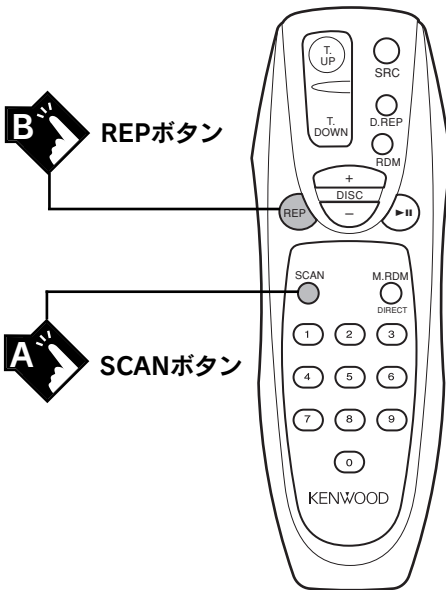
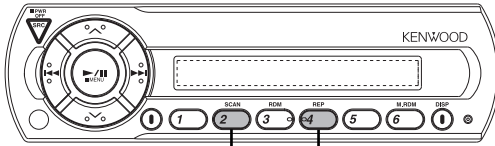
トラックスキャンプレイ中はSCANインジケータが点灯します。



▶ 聴きたい曲の再生が始まったらSCAN[SCAN]ボタンを押す。

トラックスキャンが解除され、通常のプレイになります。

MEMO ▶ 聴いているディスクのトラックを全てスキャンすると、トラックスキャンプレイは解除されます。



操作のしかた

トラックランダム

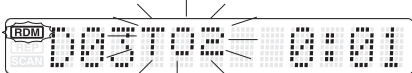
ディスクから曲をランダムに選択して再生する



RDM[RDM]ボタンを押す。

トラックランダムプレイがオンになり、聴いているディスクやMP3フォルダから自動的に曲を選んで演奏します。

トラックランダムプレイ中はRDMインジケーターが点灯し、トラックNo.が点滅表示します。



▶ 次の曲を聴く

▶▶ [T.UP]ボタンを押す。



▶ 解除する

RDM[RDM]ボタンを押す。

マガジンランダム

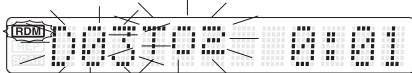
ディスクマガジン内のディスクから曲をランダムに選択して再生する



M.RDM[M.RDM]ボタンを押す。

マガジンランダムプレイがオンになり、マガジン内のディスクから自動的に曲を選んで演奏します。

マガジンランダムプレイ中はRDMインジケーターが点灯し、ディスクNo.とトラックNo.が点滅表示します。



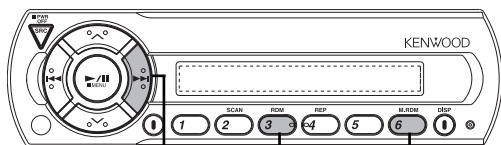
▶ 次の曲を聴く

▶▶ [T.UP]ボタンを押す。



▶ 解除する

M.RDM[M.RDM]ボタンを押す。



RDMボタン



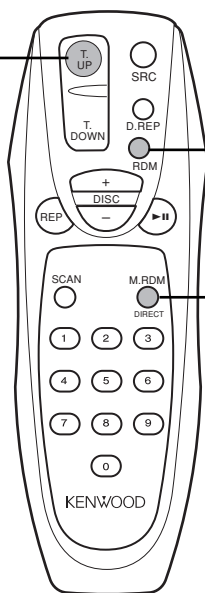
▶▶ボタン



M.RDMボタン



T.UPボタン



RDMボタン



M.RDMボタン

操作のしかた

表示切り替え

ディスプレイに表示される情報を切り替える

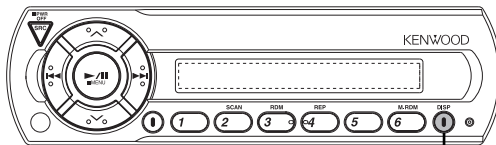


DISPボタンを押す。

押すたびにディスプレイに表示される情報が次の順で切り替わります。



MEMO ▶ 本機は、ディスクタイトルとトラックタイトルの情報はディスプレイに表示しません。従って、“現在の曲の演奏時間”を選択してください。



DISPボタン

メニュー

メニュー設定

FMモジュレーター周波数などの各種の機能を設定します。



1. MENUボタンを一秒以上押す。
メニューモードにします。
“MENU”と表示されるまで押し続けます。



2. へまたは∨ボタンを押す。
設定項目を選択します。



3. ◀または▶ボタンを押す。
設定値を選択します。
設定できる項目と値は次のとおりです。

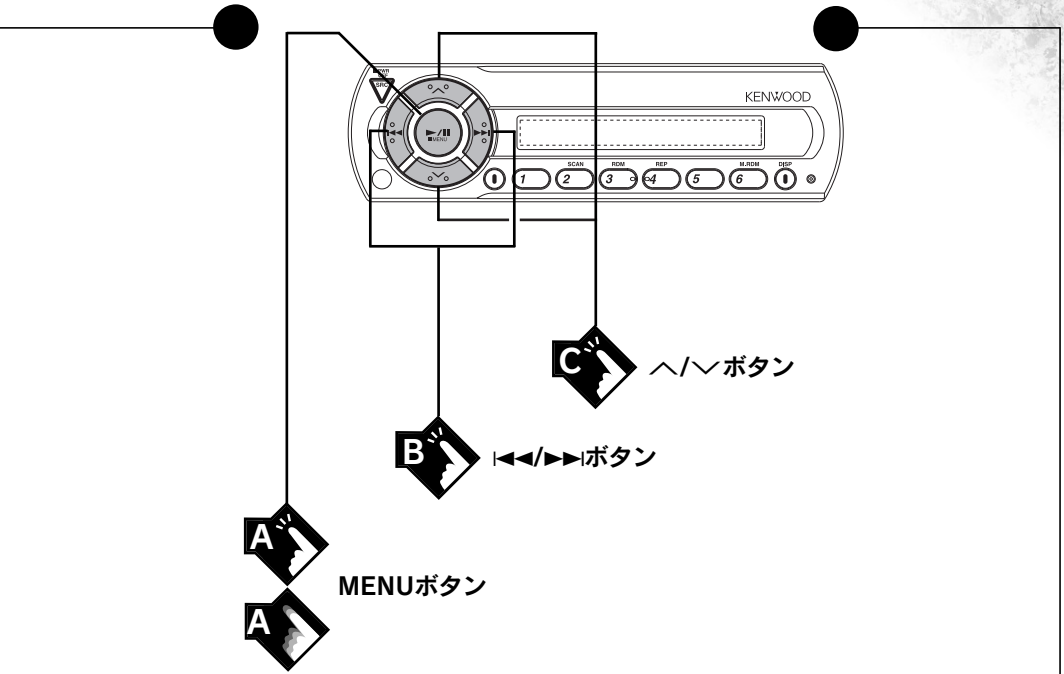
設定項目	設定値
T-FREQ (FMモジュレーター周波数設定)	87.7/87.9/88.1/ 88.3 /88.5/88.7/ 88.9/89.1/89.3/ 89.5/89.7/89.9 MHz
MOD LEVEL (FMモジュレーターレベル設定)	1/2/3/4
D-CONT (歪低減設定)	ON/OFF
SCROLL (テキスト表示のスクロール設定)	MANU/AUTO

(太字：初期設定値)

- MEMO ▶
- “MOD LEVEL”項目は、設定値が大きくなるほどFMモジュレーターレベルが大きくなります。
 - “D-CONT”項目を“ON”に設定することにより音の歪を低減することができます。ただし、“ON”に設定していても録音レベルの高いディスクを再生中は、音が歪むことがあります。そのようなときは、“MOD LEVEL”項目の設定値を小さくしてください。
 - 本機は、テキスト情報はディスプレイに表示しません。従って、“SCROLL”項目は設定のみ可能で機能はしません。



4. MENUボタンを押す。
メニューモードを終了します。



MENUボタン

◀▶ボタン

↖↘ボタン

取り付け上のご注意

警告



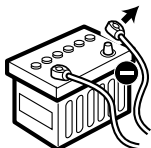
禁止



大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



実施



配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



実施



本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



実施



本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



禁止



車両電源配線用コード以外で延長しないでください。

コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。

また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



実施



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。

コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



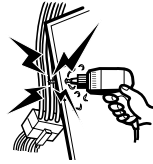
実施

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。

車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



注意



車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



実施



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

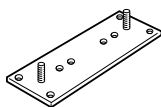
取り付け・接続のしかた

❖取り付け部品

① ブラケット 左右×1



② プレート ×2



③ タッピンネジ (φ5×20 mm) ×4



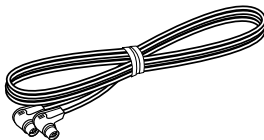
④ セムスネジ
(M4×8 mm) ×4



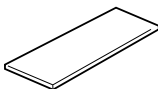
⑤ ナット (M5) ×4



⑥ チェンジャーコード (5 m) ×1



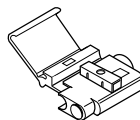
⑦ 両面テープ ×2



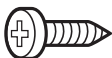
⑧ ディスクマガジン ×1



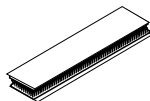
⑨ 電源中継コネクタ ×2



⑩ タッピンネジ
(φ4×12 mm) ×2



⑪ マジックテープ ×1

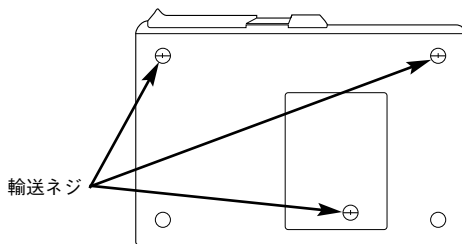


取り付けには付属のネジを使用してください。他のネジを使用すると故障の原因となります。

❖ 取り付けを始める前に

■ 輸送ネジの取り外し

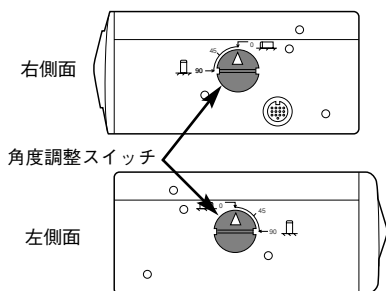
内部メカを守るために取り付けられている3本の輸送ネジを、本体の取り付けを始める前にすべて取り外してください。



MEMO ▶ 取り外した輸送ネジは、大切に保管して、本体を輸送する場合にに取り付けてください。

■ 角度調整スイッチの切り替えかた

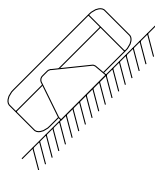
CDチェンジャーを取り付ける角度により、両側面にある角度調整スイッチの設定が必要です。**角度調整スイッチは2か所あります(2つのスイッチとも同じ設定をしてください)。正しくスイッチの設定がされていないと、音飛び、故障の原因となります。**



注意

- 角度調整スイッチは、硬貨などで切り替えてください。
- 角度調整スイッチは3段階に切り替わります。0°から90°に切り替えるときは、45°の位置で一度止め、さらに切り替えてください。ロックされた状態で無理に切り替えると、スイッチが壊れるなどの原因になります。
- ブラケット①だけでは取り付け面に対して40°～50°には取り付けられません。下右図のようにしっかりと固定された台などを利用して取り付けてください。

	0°~5°	40°~50°	85°~90°
取付角度			
角度調整スイッチの設定			



取り付け・接続のしかた

❖CDチェンジャーの取り付け



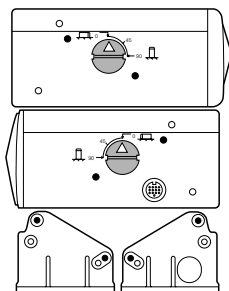
注意

- セムスネジ④は取り付け時は仮止め程度とし、ブラケット①を取付面に固定後、最後に締め付けてください。
- 取り付ける面は油などの汚れを拭き取ってください。また、凹凸面への取り付けは避けてください。
- プレートを使った取り付けかたは、簡易的な取り付け方法です。万一音飛びが起きるときには、タッピンネジを使った取り付け方法で車に固定してください。
- トランクルーム内に穴をあける場合は、裏側に何も無いことを確認してください。

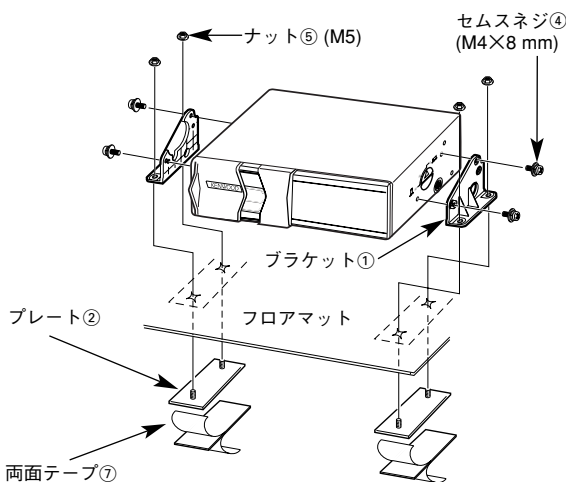
■よこに置いて取り付ける場合

●ネジの取り付け位置

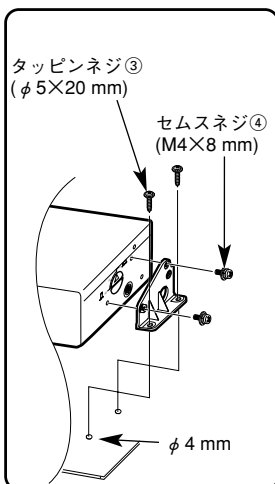
ネジの取り付け位置は
(●)印の穴を使用します。



●プレート②を使った簡易的な取り付けかた



●タッピンネジ③を使った取り付けかた



反対側も同様に取り付けてください。

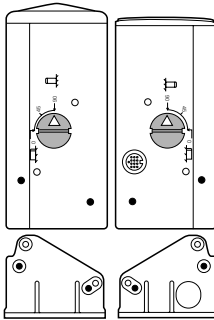


本機は確実に固定してください。固定しない、または不安定な取り付けをすると、衝撃などにより本機が破損、故障することがあります。

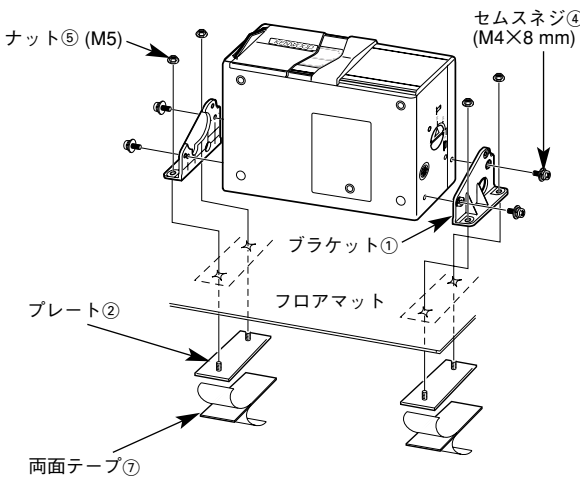
■ たてに置いて取り付ける場合

●ネジの取り付け位置

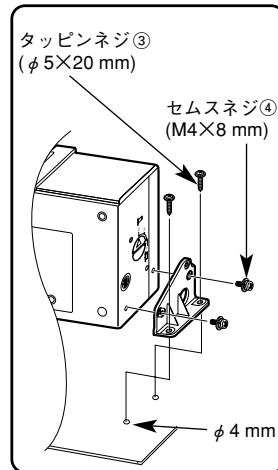
ネジの取り付け位置は
(●)印の穴を使用します。



●プレート②を使った簡易的な取り付けかた



●タッピンネジ③を使った取り付けかた



反対側も同様に取り付けてください。

取り付け・接続のしかた



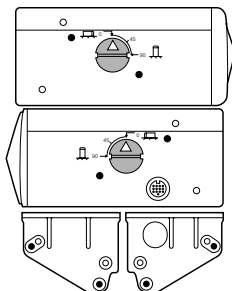
注意

- セムスネジ④は取り付け時は仮止め程度とし、ブラケット①を取付面に固定後、最後に締め付けてください。
- トランクルーム内に穴をあける場合は、裏側に何も無いことを確認してください。
- リアトレイに取り付ける場合は、スピーカーの振動も音飛びの原因になりますので、CDチェンジャーはスピーカーから離れた所に取り付けてください。またリアトレイが振動に弱い材料の場合も音飛びの原因となります。この場合はリアトレイの隅など、振動の少ない場所に取り付けてください。

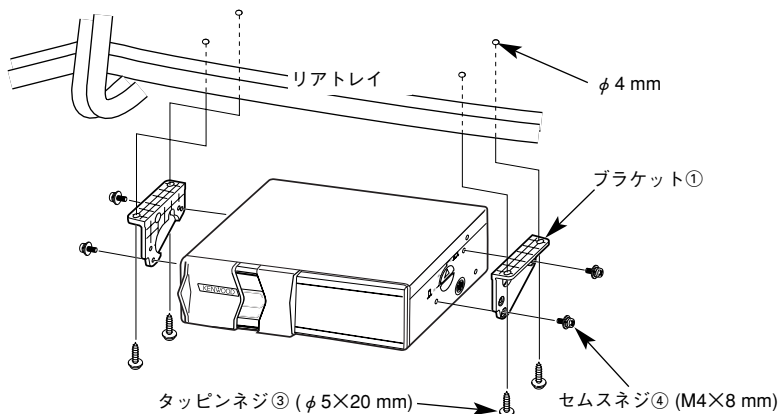
■ トランクに吊り下げる場合

●ネジの取り付け位置

ネジの取り付け位置は
(●)印の穴を使用します。



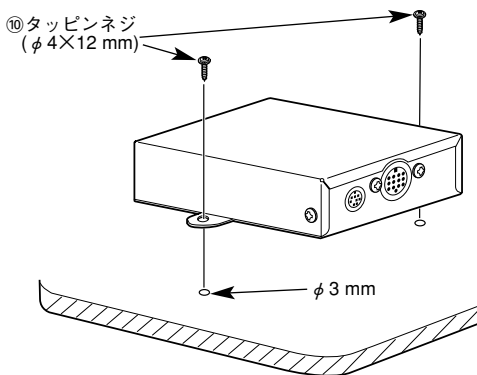
●取り付けかた



◆その他ユニットの取り付け

■ FMモジュレーターユニットの取り付け

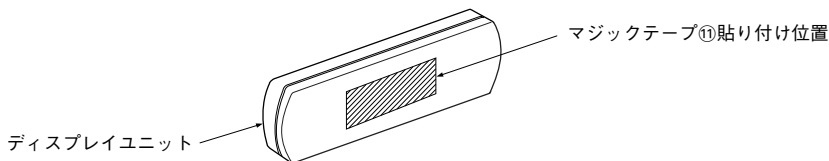
タッピンネジ⑩を使って固定します。



注意

シート下などに固定する場合、配線ケーブルがシートのレールなどにはさま込まれると、断線が起こり、故障の原因となります。FMモジュレーターユニットを取り付けたあとで、シートを動かしてケーブルがはさまれないか確認してください。

■ ディスプレイユニットの取り付け



1. マジックテープ⑪を貼り付ける場所の汚れをよく拭き取ります。

MEMO ▶ 取り付ける場所の温度が低いとテープの粘着力が弱まります。温度が低いときはヒーターをつけるなどして、車内の温度を上げてから取り付けるようにしてください。

2. ディスプレイに、マジックテープ⑪を貼り付けます。
3. マジックテープ⑪のはくり紙をはがし、ディスプレイを車両側に貼り付けます。



注意

- ダッシュボードの上など直射日光があたる場所や高温になる場所へ取り付けたり、放置しないでください。熱による変形、破損の原因となります。
- 取り付け場所により、リモートコントロールユニットの信号を受信できない場合がありますので、受信が可能なことを確認してから取り付けてください。
- 運転の妨げにならないように取り付けてください。

取り付け・接続のしかた

❖ 接続

■ 接続順序



実施

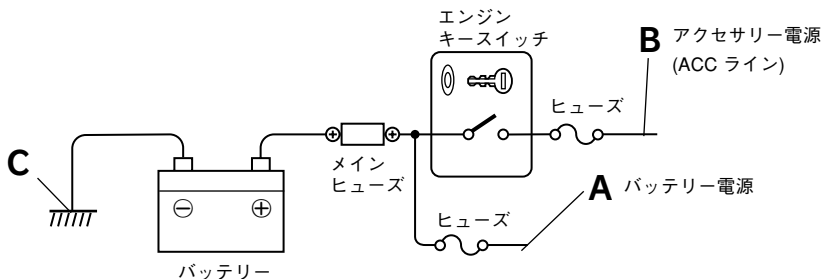
初めに、エンジンキーが抜かれているのを確認し、ショート事故防止のためバッテリーの端子を外してください。

1. 各セットの入出力コードを確かめて接続します。
2. アースコード(黒)、バッテリー電源コード(黄)、アクセサリ電源コード(赤)の順に接続します。
3. 取り付け終了後に、ディスプレイユニットのリセットボタンを押します。



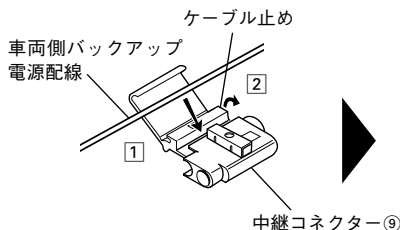
注意

- ケーブル類は余裕をもたせて配線してください。無理に引っ張ると断線したり、ショートすることがあります。
- アクセサリ電源コード(赤)とバッテリー電源コード(黄)は、必ず指定の場所に接続し、同じ場所にまとめて接続しないでください。
- ヒューズが切れた場合は、コードがショートしていないことを確認してください。確認後、ヒューズボックスに表示されている容量のヒューズと交換してください。

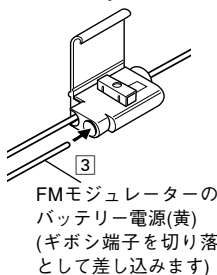


■ 電源中継コネクターの使いかた

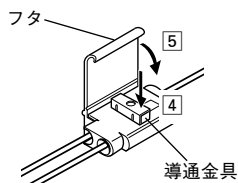
- 1 車両側バックアップ電源配線を差し込みます。
- 2 ケーブル止めをロックします。



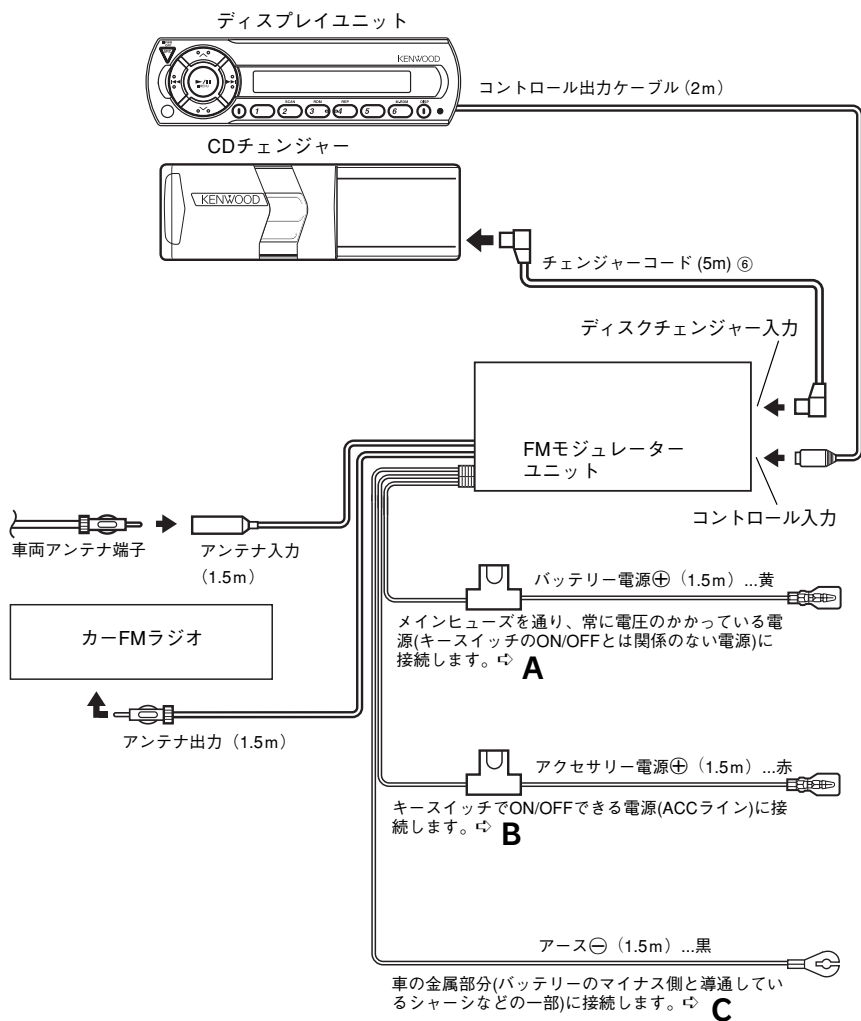
- 3 FMモジュレーターのパッケージのバッテリーケーブルのギボシ端子を切り落として差し込みます。



- 4 プライヤーなどで導通金具を樹脂面と平らになるまで押し込みます。
- 5 最後にフタをロックします。



アクセサリ電源(赤)も同様に電源中継コネクタを使って車両側アクセサリ電源配線に接続できます。



MEMO ▶ 別売品のCA-600シリーズ(電源配線用コネクター)を使うと電源配線が簡単に行えます。使用できるCA-600シリーズは、接続する車種により異なります。詳しくはカタログをご覧ください。

故障かな？と思ったら

電源が入らない

- FMモジュレーターユニットの入出力が接続されていない。
- ヒューズが切れている。
- 取り付け直後で、マイコンが正常に動作していない。

- FMモジュレーターユニットのケーブルを接続してください。(31ページ)
- 配線がショートしていないことを確認して、指定のヒューズを交換してください。
- ディスプレイユニットのリセットボタンを押してください。(6ページ)

ディスプレイに何も表示されない/ディスクの演奏が始まらない

ディスプレイユニットのコントロール出力ケーブルが完全に接続されていない。

コントロール出力ケーブルを確実に接続してください。(31ページ)

ディスクの表示はプレイになっているが音が出ない

- カーFMラジオの電源がオンになっていない。
- カーFMラジオの音量が最小になっている。
- カーFMラジオの周波数が合っていない。
- カーラジオのアンテナコードなどの接続が不完全になっている。
- なんらかの原因で、マイコンが正常に動作していない。
- CDが異常に汚れている。

- カーFMラジオの電源をオンにしてください。
- カーFMラジオの音量を適度に上げてください。
- カーFMラジオの周波数を合わせてください。
- 取扱説明書に従って配線をチェックしてください。(31ページ)
- ディスプレイユニットのリセットボタンを押してください。(6ページ)
- 「CDのお手入れ」(7ページ)を見て、CDをクリーニングしてください。

指定したディスクが演奏されず、ほかのディスクの演奏をする

- CDが裏返しになっている。
- CDを入れた場所と指定No.が違う。
- CDに傷や汚れなどが付いている。

- ディスクマガジンを取り出してCDを正しく入れ直してください。
- ディスクマガジンをイジェクトして指定CDのNo.を確認してください。
- 他のCDを使用してください。

音質が悪い(再生中雑音が出る)

- CDの音質が悪い。
- CDに傷や汚れなどが付いている。
- 録音レベルの大きいCDを聴いている。

- 他のCDを再生して問題がなければ、CD自身の問題です。
- 「CDのお手入れ」(7ページ)を見て、CDをクリーニングしてください。
- 「FMモジュレーターレベル設定」を参照して設定してください。(20ページ)

選曲動作をしても目的の曲にならない

トラックランダムモードになっている。

トラックランダムモードを解除してください。(16ページ)

ダイレクトトラックサーチまたはダイレクトディスクサーチができない

他の機能がオンになっている。

ランダムプレイモードや他の機能を解除してください。

トラックサーチができない

CDの最初の曲で前の曲へ、最後の曲で先の曲へサーチしようとしている。

ディスクリPEAT中などを除き、CDの最初の曲から最後の曲へ、最後の曲から最初の曲へはサーチできません。

振動により音が飛んでしまう

●CDチェンジャーが不安定な場所に固定してある。
●CDチェンジャーに荷物があたっている。
●CDチェンジャーの角度調整スイッチが間違えて設定されている。

●しっかりとした場所へ取り付けてください。
●荷物があたらないようにしてください。
●CDチェンジャーの角度調整スイッチを正しく設定してください。(25ページ)

無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

- EJECT** : ●ディスクマガジンがセットされていない。
●ディスクマガジンが完全に入っていない。
など
- NO DISC** : ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。
- TOC Error** : ●CDが異常に汚れている。
●CDが裏返しになっている。
●CDに傷が多く付いている。
●CDが入っていない。
●トレイが入っていない。

システムの状態を以下のように表示してお知らせします。

- E-77** : 何らかの原因で正常に動作していない。
→本機のリセットボタンを押してください。"E-77"の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- Mecha Error** : ●ディスクマガジンに異常がある。
→ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。
●何らかの原因で正常に動作していない。
→ディスクマガジンが正常にセットされているか確認し、その後ディスプレイユニットのリセットボタンを押してください。リセットボタンを押しても"Mecha Error"表示が消えないときは、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- Hold Error** : CDチェンジャーの内部温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
→CDチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。

保証とアフターサービス **よくお読みください**

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。(別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。

(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

●本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。

(本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープなどのメディアはあらかじめ取り出してください。)

●製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

●技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。

技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

●部品代：修理に使用した部品代です。

その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

【ディスク部】

レーザー	GaAlAs (ダブルヘテロダイオード、 $\lambda=780\text{nm}$)
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1Bit
回転数	500~200 rpm (線速度一定)
ワウ&フラッター	測定限界以下
周波数特性	10Hz~20kHz ($\pm 1\text{ dB}$)
モジュレーション周波数	87.7~89.9 MHz (200 kHz ステップ)

【電源部その他】

電源電圧 (⊖アース)	14.4 V (11~16 V)
最大消費電流	1.4 A
使用温度範囲	-10~50 °C

【寸法・質量 (重さ)】

外形寸法 (W×H×D)	
CDオートチェンジャー	250×80×176 mm
リモートコントローラー	45×140×29 mm
ディスプレイユニット	154×43×17 mm
FMモジュレーターユニット	126×30×69 mm
質量 (重さ)	
CDオートチェンジャー	2.0 kg
リモートコントローラー	90 g
ディスプレイユニット	145 g
FMモジュレーターユニット	400 g

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

カスタマーサポートセンター 〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山11-16-2 電話(045)933-5212 FAX(045)933-5553

カスタマーサポートセンター大阪 〒532-0034 大阪府大阪市淀川区野中北2-1-22 電話(06)6394-8085 FAX(06)6394-8308

受付時間 9:00～18:00 (土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます)

- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。